

研究内容

健康科学には多くの学問が含まれるが、ここでは、成人保健、健康管理、健康教育、健康診断を対象とする。人間ドック健診を通じて、家族歴、疾病歴、ライフスタイル、自覚症状、種々の検査結果など多くの情報が入手される。これらの相互関係を解析していく。データは20年以上蓄積されているため、縦断研究が可能である。

これまでに発表してきた研究は、

- ① 糖尿病・高血圧・脂質異常の3者併発により血管年齢は20年悪化
 - ② 喫煙による逆流性食道炎の悪化
 - ③ 受動喫煙と肺年齢
 - ④ 断煙によるメタボリックシンドロームからの脱却年数
 - ⑤ メタボリックシンドロームの発症要因
 - ⑥ 基本的な生活習慣実践数によるメタボリックシンドローム発症推移
 - ⑦ 歯磨き習慣と総合的健康度
 - ⑧ 主観的健康感と総合的健康度
 - ⑨ 視野検査による正常眼圧緑内障の早期発見
 - ⑩ 生活習慣病発症のコンピュータ予知診断
- など、多岐の分野にわたっている。

研究課題

非感染性疾患（NCDs）を中心とする。

教育目標

日本における健康管理の仕組み、実態、問題点、人間ドックで行われる基本的検査項目、医学統計手法をまず学ぶ。次にこれを踏まえて、人間ドックで行われる基本検査の解析を中心に検討する。統計ソフトを利用して、一定以上の医学統計解析が実施できる。

到達目標

縦断研究により、疾病発症に寄与する因子とその影響力についての解明ができる。

- ① 研究成果をインパクトのあるポスター・口述発表ができる。
- ② 研究成果を英文論文にて発表する。
- ③ 将来査読ができるうる能力を養う。

STAFF

教授 和田 高士

器官病態・治療学

成育・運動機能病態・治療学

神経・感覚機能病態・治療学

病態解析・生体防御学

社会健康医学

総合医科学研究センター

連携大学院

問合せ先

和田 高士

03-3433-1111（内線3690）